

# 平成 29 年度一般社団法人日本カーシェアリング協会 事業報告書

## <テーマ>

### 基準を高める

平成 29 年度は、これまで培ってきた型をベースに基準を高めることをテーマに置きながら、コミュニティサポート、災害支援、地域振興の取り組みを展開し、提供してきたサポートの質を高めることができました。組織内でも事務所移転に伴う整理や事務局機能の強化を試み、組織全体としての基準を高め組織基盤を強化した 1 年とすることができたと思います。

新規登録車両台数	：	21 台（前年度比：-34 台）
車両活万台数	：	94 台（前年度比：-13 台）
会 員	：	8 名
		※正会員：5、準会員：3 名
賛 助 会 員	：	個人 4 名（前年度比：+2 名）
コミュニティ・カーシェアリング利用者	：	177 名（前年度比：+65 名）
ソーシャルカーサポート サポート件数	：	594 件（前年度比：-207 件）

## ■ コミュニティ・サポート事業部

仮設住宅でのコミュニティサポートは継続で行いながらも、『コミュニティ・カーシェアリング』の基本的な活動現場は復興公営住宅及びその周辺地域が中心となりました。これまでに立ち上がったカーシェア会のサポートを行いながら、新規立ち上げを進めました。導入地域が増えたこと、過疎地域での実証事業に参画したこと等で、様々なケースを経験できました。そのことで組織としてサポートノウハウを蓄積することができました。石巻エコ EV カーシェアリング検討委員会では、復興財源による事業が終了した後の連携について、大切な協議を 1 年かけて行うことができました。

### 1. カーシェアリング・コミュニティサポート事業

#### (1) カーシェア会立ち上げと運営サポート

新規で 3 箇所カーシェア会が設立されました。経験のあるボランティアドライバーがいない現場ばかりだったこともあり、設立した当初は活動規模が伸び悩みましたが、利用者の方々と話し合う中で買い物ツアーやランチツアー等様々な企画や創意工夫が生まれました。そのことが『コミュニティ・カーシェアリング』の多様なスタイルを生み、結果的にモデルの多様性と関係が育まれる仕組みの構築となりました。

カーシェア会 新規 設 立	：	3 箇所（不動町・渡波・三ツ股）
サポートしたカーシェア会	：	7 箇所（上記 3 箇所含む）
カーシェア会 会 員	：	177 名（前年度比：+65 名・158%増加） 平均年齢 72 歳
ア ン ケ ー ト	：	4 箇所（渡波・三ツ股・新西前沼・吉野町）
カーシェア会 主催の旅行	：	29 回実施（前年度比：25 件増・725%増加）
説 明 会	：	2 回（渡波・三ツ股）実施（前年度比：7 件減・78%減少）
収支報告の会・利用者お茶っこミーティング	：	31 回実施（前年度比：26 件増・620%増加）

(1) 仮設住宅でのコミュニティ・カーシェアリング

仮設住宅（被災地域を含む）に導入している地域へのフォローを行いました。仮設住宅は引っ越しがすすみ、仮設住宅では最後の仮設大橋団地での取り組みも3月で終了しました。仮設住宅の利用者が復興公営住宅で立ち上がったカーシェア会に参加いただくことでサポートをつなぐことができました。（震災後利用を続けていただいている被災地域2箇所は継続）

(2) コミュニティ活動サポート（大型車無料貸出）

集約拠点団地を中心とする仮設住宅にて、新しく引越ししてきた方々との交流や再建が進まない方々の心のケアのための催し用に大型車両の貸出しを行いました。支援団体などとも連携を行い、開催されるサロンでサポートの案内を定期的に行いました。実施した4箇所の内2箇所では、私たちのサポートをきっかけに継続してそのコミュニティ自身でお出かけを行うようになりました。

利用件数：7件（役場前、大橋、大森第四、大森第二等）（前年度比：2件増・140%増加）

(3) 引越サポートレンタカー（仮設からの引越サポート）

仮設住宅から再建先へ引越する方へはカンパ金のみで軽トラを貸出すサポートを行いました。

サポート件数：33件（前年度比：9件増・138%増加）

(4) 生活再建のためのサポートレンタカー

生活を立て直していただくため、3ヵ月毎に料金がステップアップする仕組みのサポートレンタカーを行いました。

サポート人数：1名（前年度比：3名減・75%減少）

## 2. 石巻エコEVカーシェアリング事業

(1) 石巻エコEVカーシェアリング検討委員会

行政・教育機関・関係者らで構成する検討委員会メンバーらでモデル化や政策連携を目指す定例会議を行いました。今年度は特に委託が終了する平成31年度以降の政策的な連携について重点的に協議・各課との連携を行い特に福祉・地域自治・地域包括ケアの分野での連携の可能性のあることについて確認できました。

石巻エコEVカーシェアリング検討委員会定例会議開催：6回

(2) 石巻コミュニティ交通コンソーシアム

かねてから半島沿岸部での交通の模索を進めてきた流れで、CDS経営戦略研究所、NTTデータ東北、ヤマトスタッフサプライ、地元交通事業者らと「コミュニティ交通コンソーシアム」を組んで、総務省「平成29年度IoTサービス創出支援事業」に採択され、過疎エリアである北上地区・雄勝地区における「コミュニティ・カーシェア」の導入をテスト的に行う機会を得ました。過疎地の状況について学び、実施方法について方向性を見出すことができました。

(3) 防災ネットワーク構築（寄付：三菱電機㈱）

防災訓練（11月5日）において、一般のEVユーザーにも参加いただき、電気自動車を活用した防災訓練を実施しました。今年度はトヨタのディーラー・レンタカー会社が協力いただい

たことと水素自動車も協力いただいたことで取り組みの幅が広がりました。

実施地域 : 15箇所 訓練参加者数(概算):3,140人(前年度比:128%増)

## ■ ソーシャルカーサポート事業

ソーシャルカーサポート事業部では、復興期間が終わってからも活動を続けていくことができるよう、地域を支えながら収益をあげる活動を行っています。現在3名のメンバーでレンタカー事業・ソーシャルカーリース事業・損害保険事業・災害支援事業と、それを安心して実施するための車両整備を実施しています。

### 1. レンタカー事業

事務所移転に伴う営業休止や災害支援の形態変更により貸出件数は減少しました。一方で、インターネットでレンタカーを検索した際に協会の情報があがるようにした結果、インターネットから流入した新規顧客を獲得することができるようになっていきます。平成29年12月より牡鹿・雄勝・北上の商店を応援する『地域おこしレンタカー』制度をスタートさせました。交通の便が悪く、観光客が大きく減少してしまった上記地域でお買い物をするとレンタカー代のキャッシュバックが行われる仕組みです。利用者アンケートからは「この企画を紹介してもらったおかげで牡鹿に行くことができた」などの回答を得ており、反応は概ね好評いただいています。

課題は冬の閑散期にどう利用者数を増やしていくかです。昨年度末に石巻市観光協会の会員となったため、観光課・観光協会から二次交通事業者としてご紹介いただける立場となったため、一定改善がみられるものと想定しております。

貸出件数(全体) : 延べ640件(前年度比:20%減)

支援レンタカー(半額制度付きレンタカー) : 601件(うち地域おこしレンタカー16件)

### 2. リース事業

地域の困っている方と貢献している方(生活困窮者・年金生活者・支援団体・移住者・起業家)を対象とした、車両の長期貸し出し(カーリース)事業です。石巻でお住まいの方や支援団体、熊本地震や九州北部豪雨での被災者や支援団体に車の貸出を行いました。6ヶ月・12ヶ月の短期間から車を利用できるということで支援団体からはご好評をいただき、件数は46件(昨年度末時点では26件)まで増加しました。今年度の反省は、広報不足です。石巻圏内に車両ニーズがある支援団体は多数いると考えられるため、必要な方へ情報を届けることができるよう、様々な手段で情宣を図ってまいります。加えて、車両を見てリースの検討を辞めてしまうケースが複数散見されたため、同時並行で車両のご寄付を集める活動にも注力していくことが必要であると考えています。

平成29年度延べ貸出件数 : 46件(前年度比:177%増加)

平成29年度末の契約件数 : 30件

### 3. 緊急支援事業(助成金:日本財団、YAHOO!ネット基金) 7/5~12/31

7月5日に発災した九州北部豪雨(福岡・大分)において、車を失った方や支援団体へ一定期間無料で車を貸し出す支援活動を行いました。石巻からの11台を運び、九州を中心に全国から18台の車を集め、合計29台を現地で運用しました。同じ避難所や近所同士などの地域で車をシェアリングする動きが今まで以上にみられ、石巻で実践している『コミュニティ・カーシェアリング』のノウハウが他の災害現場でしっかり機能することにより確信を得ることができました。今回の緊急支援では株式会社オートボックスセブン様、商船三井フェリー株式会社様のご支援で車両の運搬を円滑に、そして安価

に行うことができました。さらに運搬経費を削減する新たな試みとして現地で活用を終えた車を、無料で使っていただく代わりに石巻まで運んでいただく「お運び無料レンタカー」の募集を試みました。結果は1件しか集まりませんが、この事業にとって大切な経験を積むことができました。日本中の各地で起こる自然災害に対応するための物流協力体制構築に向けて一歩進めた年であったと言えると思います。

災害サポートレンタカー貸出件数：41件（貸出先支援団体数:5、カーシェアリング実施件数：4）

#### 4. 保険事業

保険事業を始めて2年度目となった平成29年度。損害保険業務の対応ができる人員が増え、体制強化を図ることができました。販売件数の件数増加はもとより、職員全体で事故発生の対応を学び、自分や協会の車両利用者が交通事故の当事者になった際にも対応できるようになりました。また、仮設住宅移築プロジェクトの作業においても参加者へ傷害保険をかけることで、安心して作業に取り組んでいただく環境を提供することができました。30年度は石巻圏で活動するNPOとの接点を強化し、保険販売を強化していきます。

契約件数：81件（自動車保険12件、自賠責保険12件、火災保険2件、新種保険55件）  
（前年度比：810%増加）

### ■ 事務局

コミュニティサポート事業、ソーシャルカーサポート事業を支えるため組織基盤の強化に注力しました。

#### 1. 仮設住宅移築プロジェクト（助成金：「しんきんの絆」復興応援プロジェクト第5回）

大瓜仮設団地の閉鎖、住吉ベース（旧みうら内科）の防潮堤工事により、2つの事務所を統合する形で駅前北通りに活動拠点を移しました。移転に伴い、これまで兵庫県神戸市にあった法人登記も合わせて移転手続きを行いました。

また、新しい事務所の建物は福島県二本松市で実際に使用されていた木造の仮設住宅を移築することし、8月から解体作業を開始し、9月には石巻で組立を始め、約400名のボランティアの方々の協力の元、11月に完成を迎えることができました。民間では仮設住宅を移築して再利用した最初の事例となりました。

#### 2. 学生整備プロジェクト

春と秋の2回、石巻専修大学理工学部機械工学科自動車工学コースの協力の下、タイヤ交換や日常点検を行う学生整備プロジェクトを行いました。本プロジェクトで使用したタイヤやホイールを始めとする用品は各メーカー様にご協賛いただきました。

- ・春の学生整備プロジェクト 実施日：4月13日、14日  
参加車両台数：64台 学生：27名参加（2、3、4年生）
- ・秋の学生整備プロジェクト 実施日：11月29日、30日、12月1日  
参加車両台数：59台 学生：18名参加（3、4年生）
- ・協賛メーカー：日本ミシュランタイヤ株式会社、横浜ゴム株式会社、東洋ゴム工業株式会社、ルート産業株式会社、三共油化工業株式会社、株式会社ジョイフル、PIAA株式会社、トピー実業株式会社、パナソニックカーエレクトロニクス株式会社

**3. 労務** (助成金：大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2017)

社労士と相談の上、組織基盤強化のため就業規則の改定を行い、特に優れた取り組みを行った職員について表彰する「Good Job 制度」、一定期間務めた有期職員がキャリアアップに挑戦できるキャリアアップ制度を就業規則に盛り込みながら、組織の実態により近い就業規則を改めて決めました。

**4. 会計** (助成金：大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2017)

労務同様に税理士と定期的な意見交換の場を設け、税務における組織基盤強化を図りました。

引続き税理士からのサポートを受けながら税務知識の習得をし、税務についても事務局内でできる限り対応でき、専門家とのスムーズな連携が行える組織体制を整えていきます。

**5. ヨーロッパ視察** (助成金：ジャパン・プラットフォーム基盤強化支援・地域おこし協力隊)

2016年に実施した第1回『コミュニティ・カーシェアリング』シンポジウム in 石巻にゲストでお越しいただいた CARUSO カーシェアリング協同組合のクリスチャン氏の紹介で、10月に約3週間かけてベルギー・ドイツ・チェコ・オランダの9事業者（非営利のカーシェアリング等を行っている事業者等）の視察、ドイツ・ベルリンで開催された交通フォーラム（wocomoco）に参加させていただく機会をいただきました。様々な先進事例を通して多くの学びを得ると同時に、それぞれの事業者との交流を図ることができ、この訪問の結果、2018年7月に第2回シンポジウムの開催を行うことになりました。

**■下記内容の取り組みを行いました**

- 4月 春の学生整備プロジェクト、熊本地震支援車両点検イベント開催  
不動町にて不動町カーシェア会発足  
門協カーシェア会日帰り旅行（菜の花）、駅北復興住宅にて説明会実施
- 5月 吉野町カーシェア会、新西前沼カーシェア会総会実施、門協カーシェア会日帰り旅行（田束山）  
ITS Japan 視察受入れ、駅北復興住宅にテスト導入  
渡波地区へのアンケート調査開始
- 6月 日本カーシェアリング協会総会実施、京都大学視察受入れ  
吉野町カーシェア会ランチ会（牡鹿半島）、日帰り旅行（みちのく湖畔公園）  
新西前沼カーシェア会日帰り旅行（雄勝）、中央カーシェア会日帰り旅行（一迫）  
新日前沼地区戸建住宅へのアンケート調査開始、駅北復興住宅テスト導入終了  
地域 ITS 活動優秀事例に選ばれる
- 7月 国際交通安全学会誌 IATSS Review Vol.42「特集/シェアリングエコノミーと交通」へ寄稿  
九州北部豪雨発生 支援開始、ウィーン工科大学視察受入れ、  
日本都市計画学会東北支部シンポジウムにて登壇
- 8月 川開き祭り最後の花火鑑賞会開催、新西前沼地域で夏祭り開催、  
渡波地区で説明会実施、テスト導入開始  
地域公共交通総合研究所シンポジウムにて登壇、機械振興協会視察受入れ
- 9月 福島県二本松市から木造仮設住宅の移築プロジェクトを開始  
『地域交通情プラットフォームによる地域交通の最適化実証事業』開始  
石巻市地域おこし協力隊第一号を受入れ、半島沿岸部の観光振興プロジェクト開始  
三ツ股地域でのアンケート調査開始

- 10月 ドイツ、ベルギー、オランダ・チェコのカーシェアリング事業者を視察  
渡波・黄金浜地域で『渡波カーシェア会』発足、吉野町カーシェア会日帰り旅行（花泉）  
門脇カーシェア会日帰り旅行（花泉）、新西前沼カーシェア会・新西前沼菜園会にて収穫祭開催
- 11月 一関自動車整備振興協会視察受入れ  
石巻専修大学『復興ボランティア学』講師として登壇、秋の学生整備プロジェクト開催  
石巻市総合防災訓練実施、新事務所移築完成、新西前沼カーシェア会日帰り旅行（松島）  
不動町カーシェア会日帰り旅行（水族館）、渡波カーシェア会日帰り旅行（涌谷）  
三ツ股地域で説明会実施、北上地域で説明会実施
- 12月 地域おこし事業『地域おこしレンタカー』始動、大和証券視察受入れ  
現代文化研究所・トヨタモビリティ基金視察受入れ、大阪ガスエネルギー文化研究所視察受入れ  
柴田町議会議員研修会講師として登壇、日本政策投資銀行視察受入れ  
三ツ股地域で『三ツ股カーシェア会』発足、吉野町カーシェア会ランチ会（松島）
- 1月 徳島・鳥取の空白地有償運送事業者視察、自治大学校視察受入れ  
吉野町カーシェア会新年会（鳴子温泉）、三ツ股カーシェア会新年会（牡鹿半島）
- 2月 復興庁 平成29年度「新しい東北」復興・創生顕彰 受賞  
雄勝地区日帰り旅行数回実施（女川）、NTT データ東北インターンシップ生受入れ  
不動町カーシェア会日帰り旅行（追分温泉）
- 3月 石巻市防災フェア出展、三ツ股カーシェア会落語会開催

以上